

2024年 乳腺外科学講座業績

論 文

〔原 著〕

Hoshi N, Uemura T, Tachibana K, Abe S, Murakami-Nishimagi Y, Okano M, Noda M, Saito K, Kono K, Ohtake T, Waguri S. Endosomal protein expression of γ 1-adaptin is associated with tumor growth activity and relapse-free survival in breast cancer. *Breast Cancer*. 202403; 31(2):305-316.

Naoki K, Igawa S, Uojima H, Tsumura H, Sengoku N, Karayama M, Shimomura A, Ohtake T, Shio Y, Hosokawa A, Komatsu Y, Kumagai Y. Cardiovascular safety of pimitespib in patients with advanced solid tumors: An open - label, nonrandomized, phase 1 study. *Cancer*. 202411; 130(21):3745-3756.

Sasaki E, Natori Y, Tokuda E, Kimura-Tsuchiya R, Suga J, Kanazawa K, Koguchi T, Kikuchi N, Okabe N, Muroso S, Tachibana K, Soeda S, Shimabukuro M, Saji S. Association between specific human leukocyte antigen alleles and development of thyroid immune-related adverse event. *Immunotherapy*. 2024; 16(11):723-732.

Kobayashi N, Ozaki A, Kotera Y, Kaneda Y, Bhandari D, Takamatsu K, Kasai T, Arai M, Takasaki J, Saito H, Sawano T, Kanemoto Y, Sato H, Tsubokura M, Kurokawa T, Tachibana K, Wada M, Tanimoto T, Ohtake T, Ejiri T, Shimmura H, Kanzaki N. Long-term Experience on Breast Cancer-related Lymphedema in the Coastal Area of Fukushima, Japan After the 2011 Triple Disaster. *In Vivo*. 202401; 38(1):272-280.

Kaneda Y, Ozaki A, Murakami M, Saito H, Sawano T, Yamashita E, Gonda K, Tachibana K, Ohtake T, Tsubokura M, Ohira H. Impact of large-scale disasters on breast cancer care: A qualitative analysis of patient experiences during the 2011 triple disaster in Fukushima, Japan. *International Journal of Disaster Risk Reduction*. 202407; 109:104582.

Kaneda Y, Ozaki A, Tachibana K, Wada M, Gonda K, Tanimoto T, Shimmura H, Jakovljevic M. How should medical society face patient feedback in online review platforms? *International Journal for Quality in Health Care*. 202408; 36(3):mzae075.

Ozaki A, Azami A, Azami Y, Sugeno T, Yasui A, Gonda K, Tanimoto T, Tachibana K, Ohtake T.

Fukushima Outpatient Pharmacotherapy Model for Breast Cancer. JMA Journal. 202410; 7(4):618-621.

Kuroda J, Oikawa M, Tokuda E, Tachibana K, Sasaki E, Ohtake T, Takeishi Y, Saji S. Development of cancer therapy-related cardiac dysfunction in anthracycline-treated breast cancer patients: a retrospective study. Supportive Care in Cancer. 202412; 33(1):8.

〔総説等〕

立花和之進, 大竹徹. 【乳癌学 2024 (下) -最新の診断と治療-】 乳房および腋窩領域の非手術は実現可能か? 日本臨床. 202409; 82(増刊 7):245-248.

〔症例報告〕

Kaneda Y, Gonda K, Asakura T, Wada M, Sawano T, Kurokawa T, Tachibana K, Ozaki A. Pneumocystis Pneumonia in Locally Advanced Breast Cancer Despite Prophylactic Use of Trimethoprim-Sulfamethoxazole During Prednisolone Treatment for a Pembrolizumab-Induced Immune-Related Adverse Event: A Case Report. Cureus. 202403; 16(3):e56868.

書籍等出版物

大竹徹. 乳癌. In: 日本癌病態治療研究会. がん治療 YearBook Key Reference 2022-2023. 東京: へるす出版; 202404. p.78-90.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

Lambertini M, Sonnenblick A, Agostinetti E, Bas R, Kim HJ, Franzoi MA, Molho RB, Linn S, Kwong A, Pogoda K, Balmana J, Smeets A, Bajpai J, MooreHCF, Partridge AH, Phillips KA, Toss A, Rousset-Jablonski C, Peccatori FA, Renaud T, Ferrari A, Paluch-Shimon S, Mando P, Lee JE, Fruscio R, Cui W, Wong SM, Vernieri C, Ruddy KJ, Dieci MV, Matikas A, Rozenblit M, Guven DC, Lee M, Villarreal-Garza C, Hwang SE, De Marchis L, Puglisi F, Kemp Z, Meireles PA, Parokonnaya A, Werutsky G, Okano M, Azim HA Jr, Mati K, Rosenberg S, Gelber R, Boni L, Blondeaux E. Association between risk-reducing surgeries and survival in young BRCA carriers with breast cancer: results from an international cohort study. San Antonio Breast Cancer Symposium 2024; 20241211; San Antonio, USA.

小針大輝, 岡野舞子, 勝部暢介, 阿部貞彦, 星信大, 野田勝, 立花和之進, 渡邊尚文, 大竹徹, 野水整. 異時性両側乳癌ほか種々の悪性腫瘍を経て診断された Li-Fraumeni 症候群の 1 例. 第 27 回東北家族性腫瘍研究会学術集会; 20240217; 仙台/Web.

勝部暢介, 南華子, 長塚美樹, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 二瓶光博, 江口英孝, 石田秀行, 野水整. 遺伝性乳癌が疑われたものの多遺伝子パネル検査にて病的バリエントが検出されなかった 2 家系. 第 27 回東北家族性腫瘍研究会学術集会; 20240217; 仙台/Web.

Shimomura A, Naoki K, Karayama M, Ohtake T, Shio Y, Hosokawa A, Komatsu Y, Kumagai Y. The efficacy and safety of pimetespib in patients with solid tumors: A phase 1 study to assess cardiac safety. 第 21 回日本臨床腫瘍学会学術集会; 20240222; 名古屋.

柿崎綾乃, 増田紘子, 伊藤亜樹, 立花和之進, 和田朝香, 工藤千晶, 尾崎章彦, 田中喬之, 鈴木貴弘, 坂本有, 飯田雅史, 井口雅史, 増田慎三. 日本乳癌学会若手会員によるワーキンググループ (MIRAY1) の若手医師の勧誘・育成のための取り組みについて. 第 21 回日本乳癌学会東北地方会; 20240302; 仙台/Web. 抄録集. Y-1.

南華子, 大河内千代, 長塚美樹, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 田畑憲一, 野水整. 当科における Oncotype DX 検査結果に関する検討. 第 21 回日本乳癌学会東北地方会; 20240302; 仙台/Web. 抄録集. O2-3.

阿左見祐介, 阿左見亜矢佳, 渡邊絵里子, 立花和之進, 大竹徹. 乳癌薬物療法における病薬連携について. 第 21 回日本乳癌学会東北地方会; 20240302; 仙台/Web. 抄録集. O5-3.

勝部暢介, 岡野舞子, 南華子, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 実父に施行されたがん遺伝子プロファイリング検査を契機に遺伝性乳癌卵巣癌 (HBOC) と診断された 1 例. 第 21 回日本乳癌学会東北地方会; 20240302; 仙台/Web.

岡野舞子. 令和 5 年度研究支援員成果発表. 令和 5 年度ダイバーシティ推進本部 FMU 成果報告会; 20240306; 福島/Web.

阿部貞彦. 症例提示. 第 1 回福島乳腺外科病理カンファレンス; 20240316; Web.

岡野舞子, 阿部貞彦, 星信大, 西間木祐子, 立花和之進, 大竹徹. 当院における HBOC 患者に対するリスク低減手術とサーベイランスの実施状況についての報告. 第 124 回日本外科学会定期学術集会; 20240418; 常滑.

権田憲士, 尾崎章彦, 和田真弘, 立花和之進, 小坂鎮太郎, 安本有佑, 澤野豊明, 金本義明, 黒川

友博, 神崎憲雄, 新村浩明. 地方において持続可能な外科診療を支える「循環型勤務スキーム」. 第 124 回日本外科学会定期学術集会; 20240418; 常滑.

立花和之進, 増田紘子, 小西孝明, 伊藤亜樹, 伏見淳, 村上朱里, 岩朝勤, 大坪竜太, 小谷はるる, 利川千絵, 永山愛子, 森田翠, 寺田満雄, 木村優里, 大西舞, 柿崎綾乃, 井口雅史, 増田慎三, 戸井雅和. 若手医師による日本乳癌学会活性化の取り組み: MIRAY1 グループによるハンズオンを取り入れたセミナー企画について. 第 124 回日本外科学会定期学術集会; 20240418; 常滑. 抄録集. PS-059-2.

金田侑大, 尾崎章彦, 村上道夫, 斎藤宏章, 澤野豊明, 権田憲士, 立花和之進, 大竹徹, 坪倉正治, 山下えりか, 大平広道. 大規模災害の乳がん治療への影響: 東日本大震災時の福島の患者体験に基づく質的調査. 第 9 回日本がんサポーターティブケア学会学術集会; 20240518; さいたま.

片方直人, 大河内千代, 長塚美樹, 南華子, 松寄正實, 野水整. 嗄声により発症した甲状腺嚢腫の 1 例. 第 36 回日本内分泌外科学会総会; 20240523; 久留米.

岡野舞子, 遠藤雄大, 西間木祐子, 立花和之進, 徳田恵美, 渡邊尚文, 大竹徹. 当院における HBOC に対するリスク低減手術の実施状況についての報告. 第 30 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20240531; 仙台.

南華子, 長塚美樹, 勝部暢介, 大河内千代, 岡野舞子, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 多遺伝子パネル検査を施行させた乳癌の症例に関するまとめ. 第 30 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20240531; 仙台. 抄録集. RT1-4.

長塚美樹, 南華子, 大河内千代, 松寄正實, 片方直人, 勝部暢介, 野水整. 当院両側乳癌手術症例の HBOC (Hereditary Breast and Ovarian Cancer) 家族歴の検討. 第 30 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20240531; 仙台. 抄録集. O4-4.

勝部暢介, 南華子, 長塚美樹, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 一般診療における BRCA 遺伝学的検査に関する意思決定支援のあり方について再考する. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/ Web. 抄録集. EP-0233.

岡野舞子, 橋本万理, 多田羅妙佳, 阿部貞彦, 星信大, 西間木祐子, 野田勝, 立花和之進, 徳田恵美, 大竹徹. BRCA1/2 遺伝子学的検査の適応条件から見た比較検討. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/ Web. 抄録集. EP-0248.

阿左見祐介, 阿左見亜矢佳, 大竹徹. 術後照射による放射線肺臓炎の検討. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/ Web. 抄録集. EP-0410.

阿部貞彦, 橋本万理, 多田羅妙佳, 南華子, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 立花和之進, 徳田恵美, 佐治重衡, 大竹徹. 当院における術前薬物療法を施行した TNBC (トリプルネガティブ乳癌) の検討. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web. 抄録集. EP-0434.

安田満彦, 西間木祐子. 乳癌術後タモキシフェン内服中の肝障害に対するベザフィブラートの使用経験. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web. 抄録集. EP-0465.

立花和之進, 多田羅妙佳, 橋本万理, 南華子, 阿部貞彦, 星信大, 西間木祐子, 野田勝, 岡野舞子, 徳田恵美, 吉田清香, 中村泉, 佐治重衡, 大竹徹. 乳癌周術期における Abemaciclib の使用経験. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web. 抄録集. EP-0488.

片方直人, 南華子, 大河内千代, 長塚美樹, 松寄正實, 野水整, 二瓶光博. トリプルネガティブ再発乳癌に対しペンブロリズマブ投与後、血球貪食症候群が疑われた 1 例. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web. 抄録集. EP-0686.

橋本万理, 多田羅妙佳, 阿部貞彦, 星信大, 西間木祐子, 野田勝, 岡野舞子, 立花和之進, 大竹徹. HER2 低発現転移・再発乳癌に対するトラスツズマブデルクステカン投与症例の検討. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web. 抄録集. EP-0730.

七海陽子, 阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 佐藤直, 鈴木伸康, 渡邊絵里子, 白井祝子, 大竹徹. 当院におけるアピアランスケア取り組み. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web. 抄録集. EP-0778.

阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 鈴木伸康, 立花和之進, 大竹徹. 切除可能乳癌術後の地域連携診療について. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web. 抄録集. EP-0798.

渡邊絵里子, 阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 佐藤直, 鈴木伸康, 白井祝子, 大竹徹. 乳癌薬物療法における病薬連携についての取り組み～看護師の視点から～. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web. 抄録集. EP-0803.

長塚美樹, 南華子, 大河内千代, 松寄正實, 片方直人, 野水整, 二瓶光博. 当院両側乳癌手術症例の検討. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web. 抄録集. EP-0892.

佐々木絵理子, 阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 佐藤直, 鈴木伸康, 大竹徹. 乳癌術後ホルモン療法中に栄養指導を行った症例の検討. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web. 抄録集. EP-0937.

星信大, 東條華子, 阿部貞彦, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 吉田清香, 中村泉, 大竹徹. 機械学習

を用いた乳癌再発予測の検討. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web. 抄録集. EP-0952.

松崎正實, 野水整, 片方直人, 長塚美樹, 南華子, 田畑憲一, 大河内千代, 勝部暢介, 二瓶光博. BRCA1 変異陽性のステージIV乳癌で、長期生存している 1 例. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web. 抄録集. EP-1187.

多田羅妙佳, 橋本万理, 阿部貞彦, 星信大, 西間木祐子, 野田勝, 岡野舞子, 立花和之進, 大竹徹. 当科で経験した悪性葉状腫瘍の 4 例. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web. 抄録集. EP-1437.

南華子, 長塚美樹, 岡野舞子, 大河内千代, 松崎正實, 片方直人, 田畑憲一, 佐治重衡, 野水整. 術前化学療法後に HER2 が陽転化した乳癌の 1 例. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web. 抄録集. EP-1459.

野田勝, 立花和之進, 多田羅妙佳, 橋本万理, 東條華子, 阿部貞彦, 星信大, 西間木祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 中村泉, 大竹徹. 進行・転移乳癌に対する包括的がんゲノムプロファイリング検査の現状. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240711-13; 仙台/Web.

徳田恵美, 立花和之進, 岡野舞子, 野田勝, 西間木祐子, 星信大, 阿部貞彦, 南華子, 多田羅妙佳, 橋本万理, 大竹徹, 佐治重衡. ポスターディスカッション 当院にて免疫チェックポイント阻害薬を用いた治療を行った乳癌症例における免疫関連有害事象についての検討. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240712; 仙台/Web.

石澤真奈美, 舟見敬成, 阿左見亜矢佳, 阿左見祐介, 鈴木伸康, 佐藤直, 佐々木絵里子, 大竹徹. ポスターディスカッション 乳癌術後ホルモン療法中に運動療法を行った症例の検討. 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240713; 仙台/Web. 抄録集. PD-24-3.

木村優里, 大城智弥, 立花和之進, 中山紗由香. 私たちが考える研究コンセプト. RISE 第 3 回セミナー; 20240713; 仙台/Web.

阿部貞彦, 橋本万理, 星信大, 野田勝, 岡野舞子, 立花和之進, 大竹徹, 喜古雄一郎, 橋本優子, 森谷卓也. 男性乳房内海綿状血管腫の 1 例. 第 10 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20240727; 福島.

片方直人, 長塚美樹, 大河内千代, 南華子, 松崎正實, 野水整. ホルモン受容体陽性 HER2 陰性転移・再発乳癌に対するアバマシクリブ治療例の検討. 第 10 回日本臨床外科学会福島県支部学術集会; 20240727; 福島.

南華子. 当科におけるオンコタイプ DX®検査結果に関する検討. Next Generation Web Seminar in Tohoku〜オンコタイプ DX 乳がん再発スコア®プログラム〜; 20240910; Web.

高橋一人, 宇月美和, 三浦ゆり, 橋本優子, 大竹徹, 北爪しのぶ. O型糖鎖付加が乳癌細胞形質に果たす役割. 第43回日本糖質学会年会; 20240913; 東京.

星信大, 和栗聡, 植村武文, 立花和之進, 阿部貞彦, 西間木祐子, 岡野舞子, 野田勝, 大竹徹. エンドソームにおける γ 1アダプチン発現は乳癌の腫瘍増殖活性と無再発生存期間に関連する. 第83回日本癌学会学術総会; 20240919; 福岡. 抄録集. P-1254.

星信大. 症例提示 1. 第2回福島乳腺外科病理カンファレンス; 20240921; Web.

岡野舞子. 症例提示 2. 第2回福島乳腺外科病理カンファレンス; 20240921; Web.

阿部貞彦. 当院における術前薬物療法を施行したトリプルネガティブ乳癌の検討. 第21回福島県乳癌研究会; 20241005; 郡山/Web.

尾崎章彦, 権田憲士, 荒井めぐみ, 小沼加代子, 和田真弘, 立花和之進, 新村浩明. 乳がん患者における Advance Care Planning の実践と患者意向に関する分析. 第21回福島県乳癌研究会; 20241005; 郡山/Web.

権田憲士, 尾崎章彦, 和田真弘, 立花和之進. 当院における BRCA 病的バリエント乳癌患者の動向. 第21回福島県乳癌研究会; 20241005; 郡山/Web.

長塚美樹, 南華子, 大河内千代, 松寄正實, 片方直人, 二瓶光博, 野水整. 当院両側乳癌手術症例の検討. 第21回福島県乳癌研究会; 20241005; 郡山/Web.

橋本万理. 北福島医療センターでのトリプルネガティブ乳癌周術期治療について. 第21回福島県乳癌研究会; 20241005; 郡山/Web.

南華子. 当院における Triple negative 乳癌の周術期化学療法について. 第21回福島県乳癌研究会; 20241005; 郡山/Web.

Katsube Y, Sudo M, Minami K, Nagatsuka M, Okano M, Anzai K, Hashimoto S, Matsuzaki M, Katagata N, Azami A, Nihei M, Nomizu T. A survey on the characteristics of family history in the Japanese BRCA1 founder variant: c.188T>A (p.Leu63*). 日本人類遺伝学会第69回大会; 20241011; 札幌. 抄録集. O2-1.

門馬智之, 立場和之進, 河野浩二. 大学病院におけるアドバンスドケアプランニングの現状と課題. 第62回日本癌治療学会学術集会; 20241025; 福岡.

阿部貞彦. TNBC 周術期治療戦略と当院の使用経験. Breast Cancer irAE management Symposium in 福島; 20241102; 郡山.

長塚美樹, 南華子, 大河内千代, 松寄正實, 片方直人, 野水整. 先天性右胸筋欠損症に合併した右上外側部乳癌の1例. 第86回日本臨床外科学会学術集会; 20241121-23; 宇都宮. 抄録集. P8-4.

松寄正實, 片方直人, 長塚美樹, 南華子, 野水整, 二瓶光博. Cowden 症候群と診断された検診発見両側乳癌の1例. 第34回日本乳癌検診学会学術総会; 20241129; 高崎.

〔シンポジウム〕

阿部貞彦, 橋本万理, 多田羅妙佳, 南華子, 星信大, 村上祐子, 野田勝, 岡野舞子, 立花和之進, 徳田恵美, 佐治重衡, 大竹徹. 当院における術前薬物療法を施行した TNBC (トリプルネガティブ乳癌) の検討. 第21回日本乳癌学会東北地方会; 20240302; 仙台/Web. 抄録集. SY-6.

橋本万理, 野田勝, 多田羅妙佳, 阿部貞彦, 星信大, 西間木祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹徹. 若手セッション ペムブロリズマブが著効した TMB-high 再発乳癌の1例. 第21回日本乳癌学会東北地方会; 20240302; 仙台/Web. 抄録集. Y-8.

阿部貞彦 (パネリスト). 教育セミナー【治療編】ホルモン受容体陽性早期乳癌の周術期治療について. 第21回日本乳癌学会東北地方会; 20240302; 仙台/Web.

立花和之進 (ディスカッサント). HE+/HER2-乳癌薬物療法の臨床課題の解決へ. Lilly Breast Cancer Web Conference From The North Country 2024; 20240323; 札幌/Web.

井上有香, 増田紘子, 木村優里, 綱岡愛, 村上朱里, 尾崎由記範, 金本佑子, 田根香織, 森田翠, 岩朝勤, 北澤舞, 小谷はるる, 立花和之進, 松永有紀, 大西舞, 伏見淳, 井口雅史, 増田慎三, 戸井雅和. MIRAY1: 若手乳腺診療医の横断的ネットワーク形成、魅力的な乳腺診療医育成にむけて 無印良品コラボイベント. 第32回日本乳癌学会学術総会; 20240711; 仙台/Web. 抄録集. PD15-4.

明智龍男, 立花和之進. session1 患者さんが抱える不安と希望を支える. Breast Cancer National Symposim 2024 autumn; 20240901; Web.

立花和之進 (ディスカッサント). 腋窩リンパ節転移陰性例に対する S-1 の役割を考える. TAIHO

Web Lecture on Breast Cancer; 20240913; Web.

木村優里, 福光咲季, 阿部祐也, 青野真由子, 野田令菜, 行重佐和香, 岩朝勤, 立花和之進, 青儀健二郎, 佐川庸. 愛媛で会おや! 中四国乳腺の MIRAY は明るいけん. 第 21 回日本乳癌学会中国四国地方会; 20240920; 松山.

阿部貞彦, 南華子, 橋本万理 (パネリスト). Session2-2 ディスカッション triple negative 乳癌の周術期治療について. 第 21 回福島県乳癌研究会; 20241005; 郡山/Web.

長塚美樹, 南華子, 大河内千代, 松寄正實, 片方直人, 須藤美月, 勝部暢介, 野水整. パネルディスカッション 当院 BRCA 病的バリエーション保持者へのサーベイランス体制と実際. 第 34 回日本乳癌検診学会学術総会; 20241129; 高崎.

立花和之進, 一場慶. オンコロジーセミナー アベマシクリブの最大化～臨床的位置づけと副作用のマネジメントのコツ～. 第 19 回日本乳がん看護研究会; 20241130; 東京.

阿部貞彦 (パネリスト). 乳がん治療における時間毒性ー患者さん・医療者の側面から考えるー. 乳がん講演会 2024 in Fukushima; 20241220; 郡山.

〔特別講演〕

立花和之進. ER 陽性 HER2 陰性乳癌術後療法における治療戦略について～適正使用情報も含めて～. 福島薬剤師会・福島県病院薬剤師会福島支部 2024 年 (令和 6 年) 1 月合同研修会; 20240118; 福島/Web.

立花和之進. 知ってください「乳がん」のこと. 桜の聖母学院高等学校保健指導; 20240118; 福島.

立花和之進. HER2 陽性乳がんに対する周術期治療の組み立て方～PHESGO の登場でみえてくるものとは～. Chugai Breast Cancer Seminar; 20240201; 広島.

岡野舞子. 周術期乳癌薬物療法と FN をはじめとした副作用マネジメントについて. 協和キリン株式会社外部講師教育; 20240216; 郡山/Web.

岡野舞子. 福島県における HBOC 診療の現状と今後の課題. 乳癌診療連携のこれからを考える; 20240219; Web.

立花和之進. HER2 低発現という新たな概念をどのように実臨床に落とし込むべきか～複雑化する乳癌治療に All Fukushima で挑む～. 乳癌診療連携のこれからを考える; 20240219; Web.

立花和之進. スポンサーセミナー HER2 陽性乳がんに対する周術期治療戦略～PHESGO の利点を最大限にいかすために～. 第 21 回日本乳癌学会東北地方会; 20240302; 仙台/Web.

立花和之進. 乳癌診療における多職種連携の重要性と骨粗鬆症対策について. Progett F 講演会; 20240304; 福島/Web.

立花和之進. MBC 治療の側面から SDM を再考する. 神奈川 ABC セミナー～転移再発乳癌患者さんへのコミュニケーションを考える～; 20240307; 横浜/Web.

立花和之進. 化学療法誘発脱毛症に対する頭皮冷却法～当施設の取り組みを踏まえて～. MBC Web Forum in 岩手; 20240318; 盛岡/Web.

立花和之進. HER2 陽性乳がんの薬物治療戦略～時間毒性を踏まえた治療戦略を考える～. Meet the Expert on Breast Cancer; 20240404; 福島/Web.

立花和之進. 最新の進行再発乳がんの治療戦略. 南東北乳がんセミナー2024～HR 陽性 HER2 陰性進行再発乳癌について考える～; 20240406; 仙台.

立花和之進. 最新の進行再発乳がんの治療戦略. Chiba Breast Cancer Forum; 20240523; Web.

大竹徹. 乳癌外科治療の進歩. 令和 6 年度福島医学会学術研究集会; 20240523; 福島.

大竹徹. HER2 陽性乳がん治療戦略の新展開～フェスゴの有用性について～. 南東北乳がんセミナー 2024; 20240524; 仙台.

立花和之進. ER 陽性 HER2 陰性転移性再発乳癌の治療の奥深さに気付いてしまった医師の話. 九州・沖縄若手乳腺外科医の集い; 20240525; 福岡.

立花和之進. イブニングセミナー1 HR 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌の新たなる治療戦略. 第 30 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会; 20240531; 仙台.

大竹徹. 乳癌薬物療法における大豆イソフラボン由来エクオールの有効性について. 福島薬剤師会・福島県病院薬剤師会福島支部合同研修会; 20240612; 福島.

大竹徹. これからの乳癌診療において大切なこと、知っておきたいこと遺伝子検査による個別化治療について. Breast Cancer workshop in いわき 2024; 20240621; いわき.

立花和之進. HER2 陽性乳がんの薬物治療戦略～時間毒性を踏まえた治療戦略を考える～. 北東北 Breast Cancer Symposium 2024; 20240629; 盛岡/Web.

立花和之進. ER 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌の治療の奥深さに気付いてしまった医師のお話. Lilly Breast Cancer Seminar in HIROSAKI; 20240705; 弘前.

立花和之進. エンハーツは乳癌脳転移治療の Game Changer となりえるか. 乳がん診療のこれからを考えるー脳転移治療 Up to Dateー; 20240806; Web.

立花和之進. 乳癌の個別化医療の現状について. Breast Cancer Online Seminar in Fukushima; 20240808; Web.

大竹徹. 福島県のがん対策の現状と課題. 第 7 回福島県がんシンポジウム; 20240825; 福島.

立花和之進. 転移・再発乳癌における患者サポート. 乳がん就労支援セミナー; 20240903; Web.

立花和之進. エンハーツが切り開く HER2 低発現乳癌治療の革新. Breast Cancer Web Seminar; 20240906; Web.

大竹徹. 乳癌診療の現状と今後の期待. Next Generation Web Seminar in Tohoku; 20240910; 福島.

立花和之進. Session6 転移再発乳癌治療のパラダイムシフト. 第 25 回乳癌最新情報カンファレンス; 20240928; 宮城県松島町/Web. プログラム. SS6.

立花和之進. ER 陽性 HER2 陰性乳癌に対する周術期治療. Breast Cancer Web Seminar in Yokote; 20241002; Web.

立花和之進. AYA 世代に寄り添う乳癌治療とイブランスの最新情報. Pfizer Breast Cancer TOPICS; 20241004; 東京/Web.

岡野舞子. 遺伝性乳癌卵巣癌と遺伝子パネル検査について. 第 21 回福島県乳癌研究会; 20241005; 郡山 /Web.

大竹徹. 転移再発乳癌治療の最新情報. 東北乳がんセミナー2024; 20241007; 八戸.

立花和之進. ER 陽性 HER2 陰性転移再発乳がんに対する治療戦略. Lilly Breast Cancer Seminar; 20241010; 足利/Web.

立花和之進. “患者らしさ”を支える SDM. Lilly Breast Cancer Web Conference From The North Country 2024; 20241012; 札幌/Web.

立花和之進. ER 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌治療のめっちゃ早い進歩にたまげた医師のお話. Okinawa Breast Cancer Seminar 2024; 20241019; 那覇.

大竹徹. 知っておきたい乳がんのこと. 福島市健康セミナー2024; 20241020; 福島.

大竹徹. トリプルネガティブ乳がんの治療戦略. 平成6年度いわき乳腺疾患研究会; 20241101; いわき.

立花和之進. 乳がん診療のフルコース～エンハーツはメインディッシュとなり得るか～. 乳腺を語る会; 20241108; 札幌.

大竹徹. 免疫関連有害事象への対策について. 第6回 irAE を考える会 in 福島; 20241108; 福島.

立花和之進. MIRAY1 の活動と若手医師のキャリアパス支援. VISION to Mirai in 東北 2024; 20241111; Web.

大竹徹. 乳癌薬物療法におけるエクオールの有用性について. 第2回福島県女性医学セミナー; 20241128; 福島.

大竹徹. 乳がんを学ぼう！ がん疾患啓発市民公開講座 がんについて正しく知ろう！～予防から治療まで～; 20241130; 郡山.

立花和之進. エンハーツは HER2 陽性/低発現転移再発乳癌の Game Changer となったのか. 乳癌治療 Update セミナー; 20241204; Web.

立花和之進. HR 陽性 HER2 陰性転移再発乳癌における治療戦略. Breast Cancer Medical Staff Seminar; 20241214; Web.

大竹徹. HER2 陽性乳癌治療戦略の新展開～フェスゴの有用性について～. Chugai Breast Cancer Symposium in 県北; 20241217; 福島.

〔招待講演〕

立花和之進. ランチョンセミナー5 HER2 陽性乳がんの薬物療法戦略～時間毒性を踏まえた治療戦略を考える～. 第124回日本外科学会定期学術集会; 20240418; 常滑. 抄録集. LS-05.

立花和之進. ランチョンセミナー5 エンハーツは HER2 陽性/低発現転移再発乳癌の Game Changer となったのか. 第 34 回日本乳癌検診学会学術総会; 20241129; 高崎.

〔その他〕

杵里花, 立花和之進, 伏見淳, 寺田満雄, 渡邊諭美, 高尾優子, KimEY, Kim MH, Kim SB, Lee JE, 川井沙織, 山下奈真. アジアの未来 (GBCC/JBCS 共同企画). 第 32 回日本乳癌学会学術総会; 20240712; 仙台/Web. 抄録集. SP-6.

立花和之進. 模擬医局カンファレンス. MPP 乳がん領域医師委託研修; 20241015; 福島.